

～ 学習講演会 ～

# 食料危機と 生き残りをかけた 日本農業の方向性

日時: **3月18日(月)**  
**10:00～11:20**

会場: **アイーナ5階「501会議室」**  
(盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1)

講師: **柴田 明夫 さん**  
(資源・食糧問題研究所 代表)

**参加無料**

※11:20～11:45 いわて食・農ネットの総会を行います

とどまることのない物価高騰。日々の食生活も、農家の経営も、危機に瀕しています。

食料危機をいち早く指摘し柴田明夫さんは「食料を武器にするロシア、買い占めと備蓄に力を入れる中国…日本は備蓄と生産強化を！」と提言します。

安心して食べ・つくりつづけられる食と農についてご一緒に学び考えましょう。

<講師プロフィール>

柴田 明夫 (しばた あきお)



- ・1951年生まれ。
- ・1976年、丸紅株式会社に入社。丸紅経済研究所所長、代表を経て、2011年10月に株式会社資源・食糧問題研究所を開設
- ・著書:『飢餓国家ニッポンー食料自給率40%で生き残れるのか』(角川SSコミュニケーションズ),『資源争奪戦 最新レポート2030年の危機』(かんき出版),『生きるためにいちばん大切な「食」の話』(講談社)など

■参加予約は不要です。受付でご連絡先を含めた記名にご協力ください。

主催: いわて食・農・地域を守る県民運動ネットワーク (いわて食・農ネット)  
(滝沢市土沢220-3 岩手県生協連 内 電話019-684-2225 Fax019-684-2227)